

インドネシアにおける社会的課題の抽出と対応策提案に関する産学連携グローバルワークショップ

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2023年09月06日 ~2023年09月13日	インドネシア	スラバヤ工科大学	・環境システム学科、システム理工学専攻 ・学部4年生、学部2年生、修士1年生、修士2年生	(芝浦工業大学) 学生9名、学生バイト2名、 教員2名、職員2名 (スラバヤ工科大学) 学生22名、学生バイト7名、 教員6名、職員4名	中村 仁(環境システム学科)、 韓田 朋子(環境システム学科)

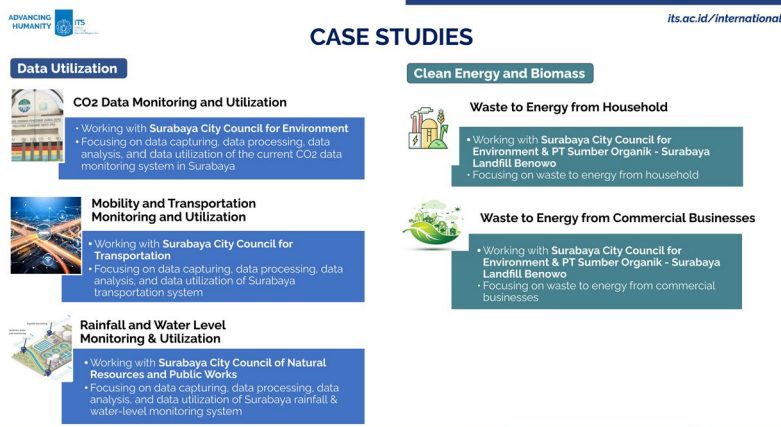


図1 5つの主要テーマ

インドネシアのITS(スラバヤ工科大学)、日本企業の株式会社IHIおよびIHI現地法人、および現地行政機関、企業と連携した産学官連携のグローバルPBLプログラムです。プログラムの内容は、インドネシアにおける社会的な課題について、関連する最新技術の社会での実現可能性を検討し、課題解決に向けた提案をすることです。今回のプログラムでは、具体的なテーマとして、データのモニタリングと活用(①CO2、②交通、③降雨・水位)、クリーン・エネルギー(④家庭ごみの活用、⑤産業廃棄物の活用)の5つを対象としました。芝浦工業大学9名、日本大学文学部8名、東京都市大学1名、スラバヤ工科大学22名の40名の学生が10グループに分かれて国際的な視点で各テーマに取り組みました。



図2 プログラムの流れ

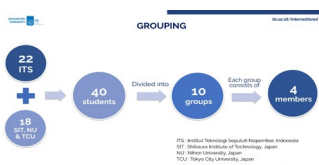


図3 グループ分け



図4 グループワーク